

令和元年度生野区区政会議(第2回全体会)
いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日:令和元年12月20日(金)

場所:生野区役所6階 大会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
山本委員	地域の会館の登記について、連合は地縁団体のため連合として登記ができるが、まちづくり協議会は区役所に聞いたところ地縁団体になっていないということなので登記ができない。この場で結論は出ないと思うので、一度区役所もそういう方向に向かっていただきたい。	—
山本委員	地域のまちづくり協議会用の簡単に処理ができる会計ソフトを作ってもらいたい。	—
船方委員	多言語Web版防災・水害ハザードマップが6言語に対応しているということで、すごく良いことだと思うが、どのようにそれがあつてを伝えているのか。日本語で説明すると日本語が読めない方はわからないし、それなら啓発ポスターみたいなものも言語ごとに作った方が末端まで情報がいくんじゃないかと、いつもこういったものを見るたびに思う。	生野区では、多言語対応ということで、今回防災マップを作らせていただいてWebで公開していますが、どうやって伝えていくかが課題です。 なお、チラシの方は、振り仮名を打ったり、できるだけ分かりやすいように工夫はしています。 また、やさしい日本語を使ってできるだけ発信していきたいと考えております。 そして、地域やいろんな会議の場でもこういうものができたことを発信して、そこから伝えていただくとか、そういう形も含めて普及していきたいと考えています。
森口委員	北鶴橋地域は、古い家をリノベーションして民泊になっていく。特に鶴橋駅からの利便性がよく、2・3年前は条例が施行され役所にも問合せしていたが、民泊の波がひどすぎて今はそういうところではない。 くらしの安全・安心部会で皆様の意見、役所の皆様の意見を聞いていたけど、切り口が小口過ぎるんじゃないかと思う。 地域に住んでいる方は高齢者が多く、非常に不安がっている。一度見ていただいて地域で動かなければいけないのか、役所と一緒に動くのか、いわゆる行政と一緒に動くのか、一度そのあたりも考えていただきたい。	—
中村委員	京都市では民泊が増えすぎて住んでいる市民から騒音等の色々な苦情があつて、規制していこうという風になってきているとテレビで見た。そういう地域社会の保全という面からもそうですし、生野区に根差してこれから住んでいこうという人たちの生活環境面からでも民泊のあり方について、ある一定のブレーキをかけていく必要があるんじゃないかと思う。	—
山本委員	会議の進め方について、区政会議の資料と一緒に送付されてくる事前質問シートで提出した質問の回答について先に済ませてから他の方の質問を聞いてはどうか。そのままだと資料をもらって済みになってしまう。	—